



# 3. 區別計画

---

# 区づくりの将来目標と重視すべき視点

## 北区

### 区づくりの将来目標

自然と調和した、彩り豊かな地域の魅力あふれる  
活力と交流のまち 北区

### 区づくりの重視すべき視点

- 多様な人材が力を発揮し、持続可能な地域を築く
- まちなかや中山間・周辺地域など、すべての地域の魅力を高め、活力ある未来を創る
- 人と人、地域と地域の交流を深める

## 南区

### 区づくりの将来目標

実りの大地に、世代を超えて未来を育む  
つながるまち 南区

### 区づくりの重視すべき視点

- 地域が一体となって、防災力を高める
- 地域資源を輝かせ、わくわく感を創り出す
- 地域をつなげ、快適に暮らせるまちを実現する

## 中区

### 区づくりの将来目標

多様な世代がつながり、誰もが  
暮らしやすさを実感できるまち 中区

### 区づくりの重視すべき視点

- 「自然」と「便利さ」が調和する住の魅力を高める
- 豊かな地域資源をいかし、地域への愛着と誇りを醸成する
- 多様な世代が交流し、地域の担い手が活躍する

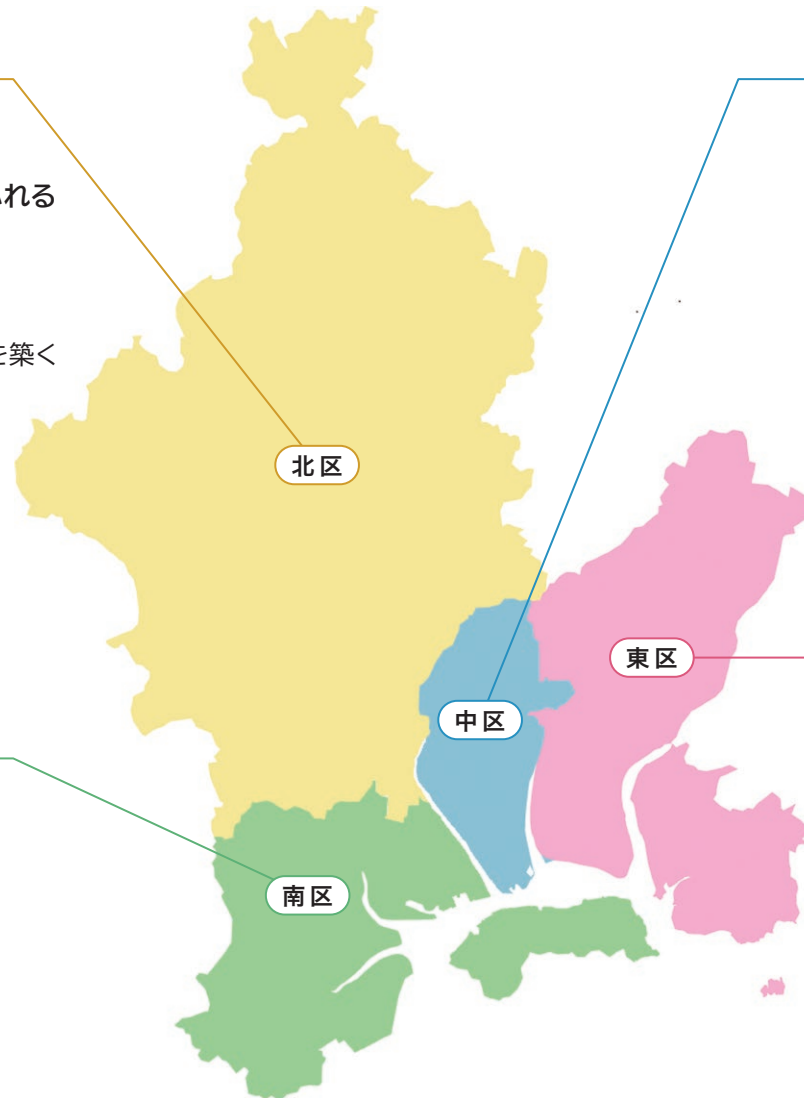
## 東区

### 区づくりの将来目標

歴史が息づき、愛着と誇りの持てる  
いつまでも住みたいまち 東区

### 区づくりの重視すべき視点

- 特色ある歴史・伝統・文化をいかし、地域の魅力を高める
- 産業・農業を振興し、地域経済を活性化させる
- 自然と共生し、より快適で安全・安心な暮らしを実現する

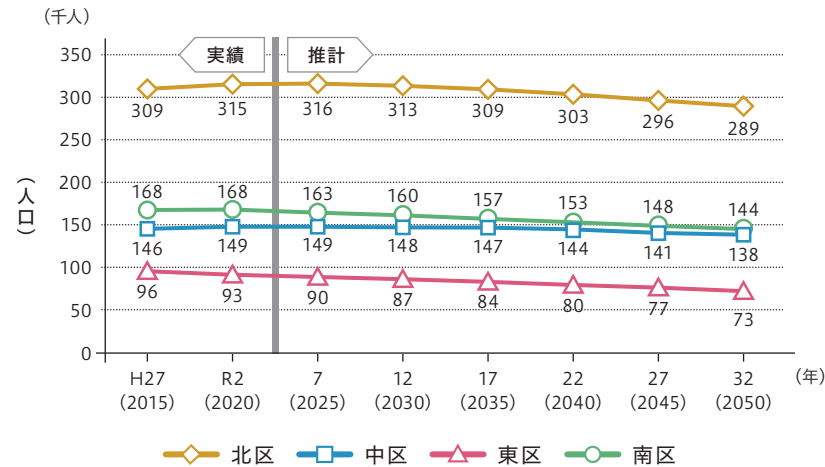


# 各区の人口の見通し

北区及び中区の人口は、令和7（2025）年までは増加する見込みとなっており、令和7（2025）年から令和12（2030）年にかけて減少に転じていく見通しです。東区の人口は、既に減少局面に転じており、南区の人口は、平成27（2015）年から令和2（2020）年にかけて微減となっており、以降、減少していく見通しです。

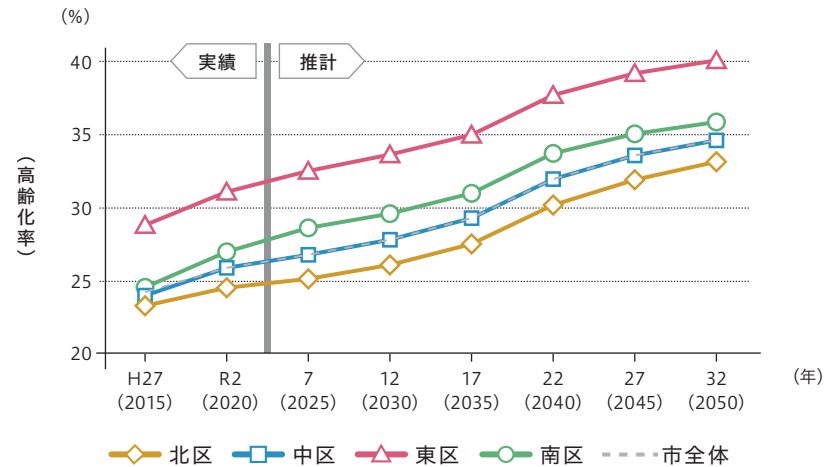
高齢化の一層の進行により、令和27（2045）年には、すべての区で高齢化率が30%を超える見通しです。

## 4区の人口推計



(資料)実績値:総務省「国勢調査」(2015年及び2020年是不詳補充値による。) 推計値:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

## 4区の高齢化率



## 4区の基本データ

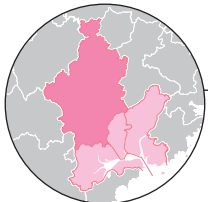
区分	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	平成27～令和2年人口増減率 (%)	年齢別割合			一般世帯数 (世帯)	1世帯当たり人員 (人)	世帯の種類	
				0～14歳 (%)	15～64歳 (%)	65歳以上 (%)			夫婦と子ども (%)	単独世帯 <sup>1</sup> (%)
北区	450.70	314,523	1.6	12.7	62.5	24.7	154,998	1.97	21.1	49.9
中区	51.24	149,232	2.1	14.4	59.5	26.1	65,426	2.23	27.1	37.1
東区	160.53	93,108	-2.6	11.9	56.9	31.2	37,392	2.42	28.3	29.4
南区	127.48	167,828	-0.2	13.7	59.3	27.1	69,170	2.38	28.9	31.7
岡山市(全体)	789.95	724,691	0.7	13.2	60.4	26.4	326,986	2.16	24.8	41.1

※各データの人口には外国人を含む。

(資料)国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「令和2年国勢調査」

### 用語説明

<sup>1</sup> 単独世帯：一般世帯のうち、世帯人員が1人の世帯。



# 北区

## ① 概況

### 地勢・都市環境

- 北区は旭川以西の中央部から北西部に位置し、平成17、19年の合併による旧御津町、旧建部町地域を含み、区域の面積は約451km<sup>2</sup>と岡山市の約57%を占め、4区の中で最も広がっています。
- 緑豊かな山林・丘陵地と清流旭川等に沿って開けた岡山平野からなり、中心部近郊には、半田山、京山、吉備の中山など古くから生活に密着してきた里山があります。
- 都心部には、国、県、市の各種行政機関が集中するとともに、JR岡山駅及び表町周辺には銀行、百貨店、オフィスビル等の商業・業務機能が集積しています。
- JR岡山駅、岡山空港、山陽自動車道岡山インターチェンジ、吉備スマートインターチェンジなど広域交通網の拠点が立地し、広域的な交通アクセス性に優れています。
- 土地利用状況では、区域の約6割を山林が占めており、田や畑なども含めると自然的土地利用の割合が約8割となっている一方、広大な区域の中に都心や市街地も有しており、多様性に富んだ地域を形成しています。



上空から見た北区の風景

### 人口・世帯

- 令和2年国勢調査では、人口は314,523人（市人口の43.4%）と、4区の中で最多となっていますが、御津地域や建部地域等の中山間・周辺地域の大半では減少傾向にあります。
- 直近5年間の人口動態をみると、主に自然減の拡大により一部年次を除いてマイナスで推移しており、岡山県毎月流動人口調査での令和7年12月1日現在の人口は、312,125人となっています。
- 高齢化率は、24.7%と市平均26.4%よりも若干低いものの、北部の中山間地域では、既に高齢化率が40%を超える地域があります。年少人口比率は、12.7%と4区の中で2番目に低くなっています。
- 1世帯当たり人員は、1.97人と4区の中で最も少なく、単独世帯<sup>1</sup>の割合は49.9%と4区の中で最も高くなっています。
- 区民のうち外国人住民が占める割合は3.2%で、岡山市の外国人住民の約5割に当たる約9,400人が居住しています（令和7年11月末現在、住民基本台帳）。
- 昼間人口<sup>2</sup>が夜間人口<sup>3</sup>を大きく上回り、4区の中で唯一流入超過となっています。

地域資源

歴史・伝統・文化

- 歴史・文化遺産の蓄積があり、文化財数は岡山市の約4分の3を占めています。
- 都心部には宇喜多家が築城した岡山のまちのルーツとなる岡山城や池田綱政が築庭した岡山後楽園があり、近年のインバウンド<sup>4</sup>需要の高まりを受け、外国人入場者数が増加しています。
- 北西部には、全国屈指の巨大古墳である造山古墳をはじめ、吉備津神社、吉備津彦神社、高松城跡、撫川城跡、庭瀬城跡、犬養木堂の生家、足守の陣屋町や近水園など古代吉備以来の歴史・文化遺産が数多く存在します。また、御津・建部地域には河原邸、成就寺三重塔等の歴史・文化遺産があり、令和5年には、建部井堰が世界かんがい施設遺産<sup>5</sup>に登録されました。
- 都心部では、吉備津彦の鬼退治の神話に登場する「温羅（うら）」を由来とする、「うらじゃ」が平成6年から開催されており、平成30年には、古代吉備の遺跡群を舞台とした『『桃太郎伝説』の生まれたまちおかやま』が日本遺産に認定されました。
- 吉備津神社の宮内踊り、吉備津彦神社の御田植祭、御津地域の獅子舞フェスタ、建部地域のはっばね桜まつり、建部祭り、志呂神社御供等の地域の伝統行事やイベントが今に受け継がれています。

自然・景観

- 旭川、笹ヶ瀬川、足守川、宇甘川など自然豊かな河川や、半田山、吉備の中山、吉備高原に連なる里地里山があり、都心部にも西川緑道公園、枝川緑道公園など水と緑をいかした公園が整備され、多くの人に親しまれています。
- 足守・津高・御津・建部地域などは市内有数のホテル生息地であり、地域住民による保護活動も活発に行われています。
- オオタカやスイゲンゼニタナゴ、ナゴヤダルマガエル、サギソウ、セツブンソウなどの希少な野生生物が確認されており、各地域で保全活動が行われています。

特産品

- **農水産物** 一宮・津高地域の白桃、マスカット、ピオーネ等のブドウ、足守地域の温室メロン、牧石地域の黄にら、青ねぎ、パクチー、御津地域の山の芋、建部地域のヨーグルト、旭川流域の鮎等
- **特産物** 烏城彫り、烏城紬、撫川うちわ等

用語説明

1 単独世帯：P159の脚注参照。  
 2 昼間人口：夜間人口から流出人口（当該地域から当該地域以外へ通勤・通学している者）を除き、流入人口（当該地域以外から当該地域へ通勤・通学している者）を加えた人口。  
 3 夜間人口：国勢調査の調査時に当該地域に常住している人口。

公共施設

- 都心部には、オリエント美術館、岡山県立美術館、岡山シンフォニーホール、岡山芸術創造劇場ハレノワ、岡山シティミュージアム等の文化・芸術施設や、岡山コンベンションセンター等の交流施設が集積しています。
- 都心部に近接して岡山県総合グラウンド、北長瀬未来ふれあい総合公園、半田山植物園があり、北西部には日応寺自然の森、北部には御津スポーツパーク、建部町総合スポーツセンターが整備されています。
- 岡山大学をはじめ、多くの高等教育機関が集積しており、学生の存在が地域に活力をもたらしています。
- 北西部には岡山空港があり、空港南産業団地や岡山リサーチパークが立地しています。北部には御津工業団地があります。
- 牧山地域には、市民農園として整備した牧山クラインガルテンがあります。
- 御津地域には、御津ふれあいプラザ・御津郷土歴史資料館、建部地域には、建部町文化センターや環境学習センター「めだかの学校」、豊かな自然をいかしたたけべの森公園やたけべ八幡温泉があります。

出先機関  
主な市の

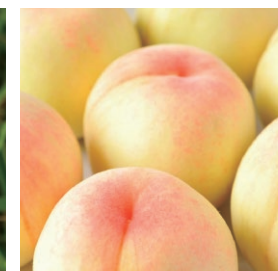
- 北区役所、支所（御津、建部）、地域センター（一宮、津高、高松、吉備、足守）、土木農林分室
- 福祉事務所（北区中央、北区北）、保健センター（北区中央、北区北）
- 公民館（岡西、北、一宮、津高、高松、吉備、足守、大元、京山、御南西、岡山中央、岡輝、御津、建部町）



造山古墳



サギソウ



白桃

4 インバウンド：P12の脚注参照。  
 5 世界かんがい施設遺産：歴史的な価値のあるかんがい施設を国際かんがい排水委員会（ICID）が認定・登録する制度。登録により、かんがい施設の維持管理に関する意識向上や地域づくりに活用されることが期待される。

# 区の概況図(北区)



拡大図

- 凡例
- 歴史・伝統・文化等
  - 公共施設等
  - 市の出先機関(市庁舎等)
  - 市の出先機関(公民館)
  - その他

## ② 現状と課題

## 特色ある地域づくり

- 地域の魅力や特色をいかしたまちづくりを実現するためには、区民と行政が区づくりの目標や課題を共有し、協働して地域の活性化や地域課題への対応に取り組む必要があります。
- 中山間・周辺地域をはじめとする各地域では、豊かな自然や多彩な農産物、貴重な歴史・文化遺産など、それぞれの個性をいかした地域づくりを進めています。
- まちなかでは歴史・文化、芸術の集積をいかした魅力の創出や、「おかやまアーツフェスティバル」など、身近な場所で様々な文化芸術に触れ、親しむことができる機会の提供を行っています。
- 西川緑道公園等でのNPOや市民団体が主体となった取組が、まちなかの魅力と賑わい創出につながっています。
- 各地域において、多様な主体の力をいかしながら、地域の文化財、伝統行事や貴重な自然、文化・スポーツ施設などの地域資源を活用した地域の活性化を進めるとともに、特にこどもの地域への愛着と誇りを醸成していく必要があります。
- 北区の魅力を掘り起こし発信するため、まちづくりアンバサダー<sup>6</sup>との協働によるイベントの実施や、地域の歴史・文化の由来等を紹介する看板（岡山歴史のまちしるべ）の設置、Instagramの活用等を行っており、引き続き積極的な情報発信に取り組む必要があります。



区まちづくり独自企画事業  
(モバイルキーワードラリー)

## コミュニティ

- 地域活動の中心となる町内会への加入率は減少し続けており、4区の中で最も低くなっています。

- 学生や単身者が多く、1世帯当たりの人員数が4区の中で最も少なくなっています。
- 外国人人口の割合が4区の中で最も高く、外国人市民と共生できる地域づくりを進めていく必要があります。
- 中山間地域では高齢化率が40%を超える地域も存在し、固有の歴史・伝統・文化の継承を含め、地域コミュニティの後継者を育成していく必要があります。

## 健康づくり

- 健康市民おかやま21<sup>7</sup>の推進体制をいかして、公民館等を拠点として地域の実情にあわせた健康づくりを行っています。更なる活動の充実のため、若い世代、働き盛り世代に向けた健康づくり活動を強化し、地域、企業、学校園、各種団体等との連携を深めていく必要があります。

## 防災・防犯

- 旭川、笹ヶ瀬川流域で甚大な浸水被害をもたらした平成30年7月豪雨をはじめ、近年、頻発している集中豪雨等を受け、令和5年には今保ポンプ場、白石ポンプ場の整備を実施するなどハード面からの対策に加え、ソフト面の対策も推進しています。また、丘陵部では今後も土石流やがけ崩れ災害が発生するおそれがあります。都心部では雨水排水の役割も担う下水道施設の老朽化が進んでいます。今後も国、県と連携しながら災害に強い地域づくりを進めていく必要があります。
- 防災意識の高揚を図るため、ハザードマップの全戸配布や出前講座の実施などを行っています。



今保ポンプ場

## 用語説明

<sup>6</sup> まちづくりアンバサダー：区の情報・魅力発信等に協力し、区役所と一緒にまちづくりを進めるボランティア。

<sup>7</sup> 健康市民おかやま21：P70の脚注参照。

- まちなかへの通勤・通学者が多いことから、地震等で交通機関が不通になった際の帰宅困難者への対応について、大規模集客施設等と協定を締結しています。
- 用水路の危険箇所については、計画的に転落防止柵の設置など安全対策を実施してきましたが、依然として転落事故は発生していることから引き続き取り組んでいく必要があります。
- 区民千人当たりの刑法犯認知件数は、4区で最も多くなっており、警察署と合同で防犯啓発活動を実施するなど、地域の防犯力の向上に取り組んでいます。
- 各地域では、安全・安心ネットワーク<sup>8</sup>、防犯ボランティア団体等により、活発な防災・防犯活動が行われていますが、多くの団体で構成員の高齢化、担い手不足が課題となっています。また、自主防災組織<sup>9</sup>数は人口、世帯数からみると十分ではなく、更なる結成を促す必要があります。
- 今後より一層地域における防災・防犯活動への支援や参加促進、事業者との連携強化等により、防災・減災、防犯力の高い地域づくりを進めていく必要があります。

## 産業等

- 産業別の付加価値<sup>10</sup>額は、第3次産業の割合が約8割と4区の中で最も高く、その中でも、卸売業・小売業の付加価値額が最も高くなっています。
- 多彩な農産物が生産されている特性をいかし、付加価値の高い高収益な農業の実現をめざしていくことが求められています。また、御津・建部地域等の中山間・周辺地域をはじめとして、農業の後継者不足が問題となっており、農家戸数は減少傾向にあることから、新たな担い手の育成や農地の集積・集約化、鳥獣被害対策等に取り組む必要があります。
- 岡山芸術創造劇場ハレノワのオープンや、ハレまち通り、岡山駅前広場の整備、活発な民間再開発事業によりまちなかの人の流れは大きく変わってきており、商店街の更なる魅力向上・活性化を促進するため主体的な取組を後押ししていく必要があります。
- 高速インターチェンジや産業拠点の周辺など、産業利用の適地への企業の立地を進める必要があります。

## 交通

- 各地域からまちなかへの交通では、バス路線の再編、利用環境の改善等を実施しています。引き続き利便性の高い公共交通や渋滞のない自動車交通に向けた取組が必要となっています。
- まちなかでは、ハレまち通りの整備が完了するなど、歩いて楽しい都市空間づくりが進められています。引き続き、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れなどの公共交通の充実や歩行者にやさしい空間づくり、自転車利用環境の向上により、賑わいをつなぐ回遊性の向上を図る必要があります。
- 現在、御津・建部地域、足守地域、馬屋上・野谷地区及び牧山地区で生活交通<sup>11</sup>が運行されています。今後の高齢化や人口減少の進行により、その他の地域においても自動車の運転が困難な高齢者等の交通弱者の増加や公共交通の衰退が懸念され、買い物や通院等の日常生活に必要な移動手段を確保していく必要があります。



ハレまち通り

### 用語説明

<sup>8</sup> 安全・安心ネットワーク：P57の脚注参照。

<sup>9</sup> 自主防災組織：P28の脚注参照。

<sup>10</sup> 付加価値：P12の脚注参照。

<sup>11</sup> 生活交通：P31の脚注参照。

## ③ 区づくりの将来目標

## 自然と調和した、彩り豊かな地域の魅力あふれる 活力と交流のまち 北区

北部の山間部や清流旭川をはじめとする豊かな自然と調和しながら、それぞれの地域の歴史・伝統・文化など、多様で豊かな資源を最大限にいかして、多くの人々が交流する魅力と活気あふれるまちづくりを進めます。

また、区民一人ひとりがつながりを深め、温かく支え合いながら、いきいきと活躍できる北区をめざします。

## ④ 区づくりの重視すべき視点

### 視点① 多様な人材が力を発揮し、持続可能な地域を築く

- 区民、NPO、事業者など、多様な力をいかし、誰もが地域の主役としていきいきと活躍できるまちづくりを進めます。
- 地域のつながる力を高め、互いに支え合うことにより、安心して安全に暮らせるまちづくりを進めます。

### 視点② まちなかや中山間・周辺地域など、すべての地域の魅力を高め、活力ある未来を創る

- 都心、市街地、田園、中山間地域など、各地域のそれぞれの特色をいかし、多様性に富んだ魅力を最大限に引き出し、農業の振興、企業立地の推進、賑わいの創出など、活気あふれるまちづくりを進めます。

### 視点③ 人と人、地域と地域の交流を深める

- 公共交通の利便性向上や道路ネットワークの充実により、地域と地域を結びつけ、交流の促進につなげます。
- 歴史・伝統・文化、自然、特産品など、地域資源を活用した取組や学ぶ機会の充実によって、区民の地域への愛着と誇りを育むとともに、積極的に発信することで、人と人、地域と地域がつながるまちづくりを進めます。

## ⑤ 施策展開の方向性

### 方向性1 持続可能で活力のある地域づくり

#### ① 多様な力をいかした地域づくり

- 地域団体等の活動を支援するとともに、NPO、事業者、大学や学生等の多様な主体との連携を進め、地域課題の解決や地域資源を活用した魅力ある地域づくりを進めます。さらに中山間・周辺地域においては、地域の未来づくり推進事業や地域おこし協力隊事業などにより、地域の活性化促進にも取り組みます。

- 区づくり推進事業を促進し、地域のアイデアをいかした取組や、地域住民の主体的な交流の促進や課題解決に向けた活動を支援し、地域への愛着を醸成します。

- 区民の協力を得て、多様なニーズを取り入れながら、区役所が主体となって身近な地域課題に取り組む区まちづくり独自企画事業を実施し、地域の特色や魅力をいかしたまちづくりを推進します。



区づくり推進事業

- 単身者、学生、マンション居住者等の地域活動への参加促進や、若者の地域への関心を高める取組の実施等により、地域の新たな担い手づくりを進めます。
- 年齢や国籍等にかかわらず、誰もが参加しやすい地域づくりを進めるとともに、高齢者や子どもを地域で見守り、支え合う活動を促進します。

#### ② 地域における健康づくりの推進

- 各地域での健康市民おかやま21の推進体制の更なる充実を図り、地域の実情や健康課題にあわせ、公民館等での健康づくり講座の実施や、市民の主体的な健康づくりに向けた活動を支援します。
- 若い世代、働き盛り世代に向けた健康づくり活動を強化するため、市民や地域団体、企業、学校園等との連携により健康づくりに関する啓発活動を進めます。
- 区づくり推進事業のイベントにおける健康測定や健康相談、高齢者と若い世代の交流の場づくり、マラソンなどのスポーツを通じた健康増進など、地域が主体的に行う健康づくりの取組を支援します。

### ③ 新庁舎での窓口サービスの向上

- 新庁舎の市民窓口サービスフロアにおいて、待ち時間の短縮、書かない窓口、わかりやすい案内表示など、市民が利用しやすい環境づくりを行います。



新庁舎 北西外観 (イメージ)

### 方向性2 防災・減災、防犯力の高い地域づくり

#### ① 防災・減災対策の推進

- 国、県による旭川、笹ヶ瀬川、足守川等の改修等を促進するとともに、都心部における下水道施設の計画的な改築・更新等による雨水排水機能の強化、津島地区、横井地区をはじめ、市街地等での浸水対策等を進めます。また、土砂災害については、県による警戒区域等の指定や対策工事を促進します。

- 町内会への防災備蓄土等の配布や、事前に大雨が予想される場合の河川からの取水量の早期調整、用水路の事前水位調整等、地域間の連携によるソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減・防止を図ります。

- 土砂災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめるため、ハザードマップの作成や防災学習会の実施等により、日頃からの危機意識を醸成するとともに、避難方法等の一層の周知を図ります。



北区総合防災訓練

- 自主防災組織の結成を促進するとともに、地域防災リーダーの育成、防災訓練の支援、避難行動要支援者の個別避難計画の作成支援等を通じて、自主防災組織への支援強化を図り、組織の活性化を推進します。

- 通勤・通学者の多いまちなかでは、大規模集客施設等や交通事業者との連携を密にし、帰宅困難者への対応をはじめ、更なる防災対策の充実を図ります。

- 用水路等の危険箇所に対する安全対策を図るため、引き続き転落防止柵等を設置するハード対策を行うとともに、啓発ポスターの掲示やチラシの配布等のソフト対策も実施していきます。

## 2 地域の防犯力の強化

- 安全・安心な地域づくりを進めるため、安全・安心ネットワーク等による防犯パトロール等の自主的な地域の見回り活動を支援するとともに、防犯ボランティア団体への防犯講座の実施等により地域防犯活動の活性化を図ります。
- 地域における防犯灯や防犯カメラの設置等を支援するとともに、警察や防犯団体等との連携を強化し、街頭犯罪や少年非行を防止し、犯罪のない社会づくりを進めます。

## 方向性3 農業の振興と企業立地の推進

### 1 農業の振興

- 特産である白桃やブドウの果樹栽培などでの新規就農者の確保や地域特性をいかした競争力の強化など、農業を継続できる環境づくりに取り組みます。
- 農地・農業用施設の保全活動等の地域の共同活動を促進することにより、コミュニティの再生・強化を図ります。また、地域内外の人材の経験をいかながら、地域資源を活用した6次産業化<sup>12</sup>等により、地域の活性化を図ります。
- 緑豊かな自然の中で野菜や花の栽培ができる牧山クラインガルテンの利用促進を行い、食と農業に対する理解を深めるとともに、都市住民と農村住民の交流促進を図ります。
- 鳥獣被害対策として、農地の防護柵や捕獲檻の設置、捕獲駆除等への支援を継続していきます。



牧山クラインガルテン

### 2 企業立地の推進

- 高速インターチェンジや産業拠点の周辺などの産業利用の適地において、地域未来投資促進法<sup>13</sup>の活用や市街化調整区域<sup>14</sup>の開発許可制度の緩和により、工場や物流施設等の立地を推進します。

#### 用語説明

<sup>12</sup> 6次産業化：P85の脚注参照。 | <sup>13</sup> 地域未来投資促進法：P81の脚注参照。 | <sup>14</sup> 市街化調整区域：P81の脚注参照。

## 方向性4 まちなかの魅力と賑わいの創出

- まちなかの賑わい創出に向けて、西川緑道公園、下石井公園、旭川の水辺などの都市空間の利活用、また、今後の烏城公園石山地区の整備、岡山城西の丸活用検討、新庁舎前広場と大供公園の一体的な整備など、魅力と賑わいの拠点づくりを進めます。
- ハレまち通りの歩道活用など、歩いて楽しい歩行者優先の道路空間づくりを進め、まちなかの回遊性の向上を図ります。
- 商店街等の魅力向上・活性化に向け、賑わいづくり等への支援とあわせて、空き店舗対策や新たな担い手の創出・育成等を支援します。
- 「うらじゃ」に代表されるおかやま桃太郎まつり等の文化や食のイベントを行政と民間が一体となって進めます。
- まちなかや北長瀬駅周辺地区において街路樹や都市公園樹木のボリュームアップなどを進めるとともに、この取組を広げていくことで風格と魅力ある都市空間づくりを図ります。
- まちなかの美化活動を地域住民との協働により進めるとともに、ポイ捨て禁止、路上喫煙者への指導等に取り組みます。



うらじゃ

## 方向性5 歴史・文化など多様な地域資源の活用・発信

- 美術館、博物館、図書館等の豊富な文化・学習施設について、利便性や魅力を高めるとともに、県等と連携して様々な学習・体験の機会を設けることにより、文化・芸術・生涯学習活動やそれらを通じた交流を活性化します。
- 地域住民による地域の歴史・文化遺産の保存・活用等の取組を支援するとともに、こどもの頃から地域の歴史・伝統・文化に触れ親しむ機会を提供することにより、地域への愛着と誇りを醸成します。

- 岡山城、岡山後楽園や吉備路等の岡山を代表する地域資源について、県や関係団体等との連携・協働により、その魅力を高めて発信します。

- 豊富な観光資源をいかした市内外との交流を進め、地域の観光ボランティア等との連携により訪れる人を温かくおもてなしします。

- 地域との連携により、多様で豊かな自然環境と触れ合うことのできる環境づくりや、身近な自然環境を保全する担い手づくり等を進めます。

- 歴史・伝統・文化や、美しい自然、豊富な特産品など、各地域の彩り豊かな魅力についてインスタグラム等を活用し積極的に発信します。



建部井堰

## 方向性6 地域特性に応じた交通利便性の向上

### ① 公共交通等の利便性向上

- 各地域とまちなかをつなぐ公共交通の利便性向上を図るとともに、周辺を含む沿線地域の活性化や観光振興を図ることを目的に桃太郎線LRT<sup>15</sup>化の取組を推進します。
- 一宮方面、津高方面、庭瀬方面において、駅や身近な生活関連施設への路線延伸などバス路線の再編に取り組むとともに、乗り継ぎ環境の整備を進めます。
- まちなかの回遊性の向上に向け、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れや延伸、環状化等を進めます。



岡山駅前広場イメージ図

- まちなかでの自転車通行空間の整備や駐輪場整備等の放置自転車対策、電動アシスト付き自転車の導入などシェアサイクル「ももちゃり」<sup>16</sup>のリニューアルによる利便性向上・利用促進に取り組みます。

### ② 生活交通の確保

- 生活交通が運行されている御津・建部地域、足守地域、馬屋上・野谷地区及び牧山地区において、利用促進と運行サービスの改善に取り組みます。
- その他の公共交通不便地域<sup>17</sup>においても、地域住民及び交通事業者との連携により、買い物や通院等の日常生活に必要な移動手段を確保するための生活交通の導入を進めます。



乗合タクシー

### ③ 道路ネットワークの充実・強化

- 都心部への自動車流入の抑制や周辺道路の渋滞緩和を図るため、都市計画道路下中野平井線（中環状線）、都市計画道路米倉津島線（中環状線）等の幹線道路の整備を進めます。
- 都心部への交通アクセス性の向上や御津、建部など周辺の地域における円滑な移動を確保するため、一般県道岡山倉敷線や主要地方道岡山吉井線、都市計画道路大元二日市町線、主要地方道高梁御津線等の幹線道路の整備を進めます。



主要地方道岡山吉井線  
(新大原橋拡幅)

#### 用語説明

<sup>15</sup> LRT：P133の脚注参照。

<sup>16</sup> シェアサイクル「ももちゃり」：P93の脚注参照。

<sup>17</sup> 公共交通不便地域：路線バス等が運行していない、又は既存バス停や鉄道駅から離れているため、日常生活に必要な公共交通の利用が不便な地域。

長期構想

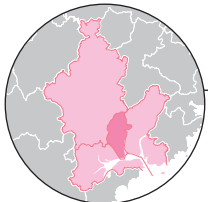
前期中期計画

1 総論

2 分野別計画

3 区別計画

付属資料



## 中区

### ① 概況

#### 地勢・都市環境

- 中区は旭川の東、市のほぼ中央に位置し、面積は約51㎢と市全体に占める割合は約6%で、4区の中で最小となっています。
- 北には龍ノ口山、中央には操山の丘陵地があり、西には旭川、東にはその放水路である百間川が流れ、南部には児島湾に面した干拓による豊かな平野が広がっています。
- 区域の約半分が都市的土地利用されており、宅地の占める割合が3割を超え、4区の中で最も高くなっています。
- 都心部から連続した市街地が広がっており、職と住が近接したベッドタウンとしての性格を有しています。
- 市街地は大きく分けて、旧城下町の一部として古くから発展してきた東山・操山より西の旭川沿いの地域、操山より北で国道250号及び山陽本線に沿って東西に連続する地域、操山より南の主要地方道岡山牛窓線に沿って住宅開発が進められてきた地域に分けられます。
- 南部には米作を中心とした優良農地が広がり、農業生産の重要な役割を担っています。
- 岡山港（高島地区）（通称：新岡山港）周辺や広域幹線道路沿線には、工業・物流機能が集積しています。

#### 人口・世帯

- 令和2年国勢調査では、人口は149,232人で市人口の20.6%を占めています。
- 直近5年間の人口動態をみると、自然減の拡大により令和4年からマイナスで推移しており、岡山県毎月流動人口調査での令和7年12月1日現在の人口は、146,689人となっています。
- 高齢化率は、26.1%と市平均の26.4%よりも若干低く、年少人口比率は、14.4%と市平均の13.2%を上回り、4区の中で最も高くなっています。
- 1世帯当たりの人員は、2.23人であり、単独世帯<sup>1</sup>の割合は4区の中で2番目に高く37.1%となっています。
- 区民のうち外国人住民が占める割合は1.9%で、約2,800人が居住しています（令和7年11月末現在、住民基本台帳）。
- 昼間人口<sup>2</sup>が夜間人口<sup>3</sup>を下回っており、その差がマイナス方向に拡大傾向となっています。市内他区での従業・通学の割合が4区の中で最も高くなっています。



上空から見た中区の風景

地域資源

歴史・伝統・文化

- 龍ノ口山の南麓には、この地域が備前地域の中心地であったことを示す賞田廃寺、幡多廃寺等の古代寺院跡や律令時代の備前国庁跡があり、操山周辺には金蔵山古墳等の古墳群や、曹源寺、安住院等の歴史・文化遺産が存在します。
- 操山には、宇喜多直家の生涯最大の合戦とされる「明禅寺合戦」の舞台となった明禅寺城跡が、龍ノ口山には龍ノ口城跡が残されています。
- 津田永忠による倉田新田・沖新田開発、倉安川、百間川開削等の大規模な農業・土木遺産のほか、旭川のケレップ水制<sup>4</sup>群等の土木遺産が存在します。令和元年には、約50年に及んだ百間川の改築が完了するとともに、「倉安川・百間川かんがい排水施設群」が世界かんがい施設遺産<sup>5</sup>に登録されました。
- 岡山藩の医学館に始まり、旧制第六高等学校や岡山師範学校など、数多くの学校を有してきました。
- 世界初の点字ブロックの設置、児童福祉の父と呼ばれる石井十次や岡山博愛会のアリス・ペティー・アダムスが活動するなど、福祉分野において先駆的な取組がなされてきた伝統があります。

自然・景観

- 龍ノ口山と操山は市街地に隣接する里山として、景観、生物多様性の面から貴重な緑地となっており、市民に憩いの空間を提供しています。
- 旭川、百間川のほか、倉安川、祇園用水等の水路群が豊かな水辺空間を形成しており、水路の中にはアユモドキ<sup>6</sup>（天然記念物）が息する地域があります。
- 高島・旭竜地域は都心部に近い地域でありながら、市内でも有数のホテルの生息地となっています。
- 旭川左岸の蓬萊橋から相生橋までの約1キロにわたり美しい桜並木が続く「旭川さくらみち」では、毎年「岡山さくらカーニバル」が開催され、多くの花見客で賑わっています。

特産品

- **農産物** 沢田の柿、酒米最高品種の雄町米等
- **その他** 高島のお飾り、全国名水百選の一つ雄町の冷泉、日本酒や地ビールなどの酒類、和菓子

公共施設

- 操山公園里山センターは、市民の自然体験活動の拠点となっています。
- 岡山の海の玄関である岡山港（高島地区）（通称：新岡山港）は、岡山と小豆島とを結ぶフェリーの発着口として利用されています。
- 大学が2校、高等学校が6校あり、文教地区としての機能を担っています。
- スポーツ施設として、百間川緑地や奥市公園があります。
- 「旭川・百間川ランニングコース」は、豊かな水辺の自然を楽しみながらランニングやウォーキングを楽しめるコースで、毎年1月には、県下の市区町村対抗の「晴れの国岡山」駅伝競走大会が開催されています。

主な市の出先機関

- 中区役所、富山地域センター
- 中区福祉事務所、中区保健センター
- 公民館（操山、東、操南、富山、高島、東山）



曹源寺



点字ブロック発祥の地

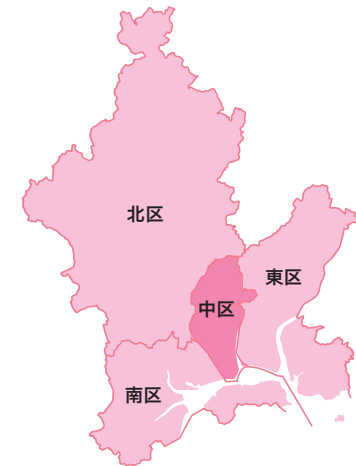


岡山さくらカーニバル

用語説明

- 1 単独世帯：P159の脚注参照。
- 2 昼間人口：P161の脚注参照。
- 3 夜間人口：P161の脚注参照。
- 4 ケレップ水制：船の安全な航行を目的とし、流路を狭めることで川底に土砂が溜まるのを防ぐためのT字型の石積み構造物。桜橋から岡南大橋にかけての旭川左岸約4kmにわたって、水量が少ない時に見られる昭和初期の近代土木遺産。
- 5 世界かんがい施設遺産：P161の脚注参照。
- 6 アユモドキ：P137の脚注参照。

# 区の概況図(中区)



- |    |                |
|----|----------------|
| 凡例 | ● 歴史・伝統・文化等    |
|    | ● 公共施設等        |
|    | ● 市の出先機関(市庁舎等) |
|    | ● 市の出先機関(公民館)  |

② 現状と課題

交通

- 都心部に向かう旭川等の橋近辺や主要地方道岡山牛窓線など片側1車線の一部幹線道路等では、通勤時の慢性的な渋滞やそれに伴うバスの遅れ等も生じており、対策の一環として、令和6年度に市道錦町古京町線の拡幅工事が完工しています。
- 交通渋滞の解消、主要な公益的施設への交通アクセス性の向上が求められており、地域の活力や日々の暮らしを支えるため、引き続き、外環状線・中環状線等の幹線道路整備を推進する必要があります。
- 利便性の高い公共交通を確保するため、公設民営方式を導入した支線バスとして「高島・旭川荘線」や「高島・備前原線」、「東山・操南台団地線」の運行を開始しています。引き続き、利用促進や運行サービスの改善に取り組む必要があります。
- 自転車通行空間ネットワークについて、路線を選定し、一部路線の事業に着手しており、引き続き、市民ニーズの高い自転車利用環境の向上を図る必要があります。



支線バスFLAt

自然・生活環境

- 操山、龍ノ口山、アユモドキが生息する祇園用水等の水路群、ホタルの生息地である高島・旭竜地域をはじめ、多様で豊かな水と緑の空間は、市民共有の財産です。引き続き、認定地区を増やしてきた「身近な生きものの里」事業等を通じて、区民とともに地域の生態系や自然環境を守り、次世代へ継承していく必要があります。
- 中区管内の里山周辺では、鳥獣被害が緩やかに増加しており、地域住民と協力しながら鳥獣被害対策に取り組む必要があります。



アユモドキ

- 老朽化が進行する高島市営住宅では、入居者の安全・安心や住環境の面での課題があり、再整備を行う必要があります。
- 平成10年に先行取得した図書館整備用地（中区高屋）が未活用となっています。

特色ある地域づくり

- 地域ブランドとして操山北麓の沢田地域では沢田の柿、龍ノ口地域では酒米として雄町米が生産されており、雄町米を使用した日本酒のPR活動が県内外で行われています。
- 区内を流れる旭川、百間川には、区民が身近に水辺で憩えるよう、親水公園やボートコース等の施設が整備されています。
- 操山周辺には、曹源寺等の歴史・文化遺産も多く存在し、これらを歩いて巡ることのできる遊歩道が整備されています。
- 地域の歴史・文化の由来等を紹介する看板（岡山歴史のまちしるべ）を設置し、地域の歴史・文化を学び、楽しむ機会を増やしてきました。引き続き、地域の歴史・文化遺産や地域特産品等の積極的な活用が必要です。
- 中区では、各地域におけるイベントや活動、魅力的な地域資源、道路・河川等の整備状況等をInstagramで情報発信しており、引き続き、積極的な発信等を通じて、区民の地域への愛着や誇りの醸成へとつなげる必要があります。

## コミュニティ・健康づくり

- 少子高齢化や価値観の多様化に伴い、町内会の加入率は低下傾向にあります。高度経済成長期に開発された団地等、近年高齢化が急速に進んだ地域では、地域団体の構成員の高齢化が進んでおり、新たな担い手の育成等により、持続可能な地域づくりを進めていく必要があります。
- 中区では、地域住民による助け合いの仕組みづくりや、中高生ボランティアの地域活動への参加など多様な担い手が参画する主体的な課題解決のための取組が進んでいます。
- 中区役所と区内にある大学との間で包括的な連携協定を締結しており、地域福祉、地域の活性化のための人材育成等について相互協力を進め、高齢者の健康チェックやこどもの居場所へのボランティア派遣等を行っています。
- 引き続き、暮らしやすい地域づくりに向けて、中高生等の若者をはじめとした住民の地域活動への積極的な参加を促進するとともに、地域団体、NPO、企業、大学など、多様な主体の力をいかし、協働による取組を拡大していく必要があります。
- 健康市民おかやま21<sup>7</sup>の推進体制により、特に小・中学校と連携して喫煙防止や食育等の啓発活動を進めており、今後は、こどもの保護者など幅広い世代に向けた健康づくりを促進する必要があります。



選挙啓発ワークショップ

## 防災・防犯

- 南海トラフ巨大地震等による津波の発生時には、操山以南の海拔ゼロメートル地帯を中心に多くの被害が発生するおそれがあります。いつ起こるかかわからない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめるためには、日頃から住民の危機意識を醸成し、防災意識を高め、災害に強い地域づくりを進める必要があります。
- 台風や頻発する集中豪雨のため、市街地等で内水はん濫による浸水被害が発生しており、引き続き、倉安川の改修や水位の事前調整など、ハード・ソフト両面から浸水対策を進める必要があります。
- 地域の防犯対策として、防犯灯や防犯カメラの新設や更新に対する補助を実施しています。
- 通学時の見守りや地域パトロールなど、地域の防犯に重要な役割を果たしている防犯ボランティア団体では、多くの団体で高齢化、担い手不足が課題となっており、地域防犯活動の活性化に向けた取組を進める必要があります。
- 用水路の危険箇所については、計画的に転落防止柵の設置など安全対策を実施してきましたが、依然として転落事故は発生していることから、引き続き取り組んでいく必要があります。



護岸整備後の倉安川

③ 区づくりの将来目標

## 多様な世代がつながり、 誰もが暮らしやすさを実感できるまち 中区

旭川や百間川、操山、龍ノ口山に代表される豊かな水や緑に囲まれ、都心部から連続した市街地が広がる中区の特性をいかし、誰もが暮らしやすさを実感できるまちづくりを進めます。また、地域での支え合いや多様な世代間の交流が活発に行われる地域づくりを進めるとともに、豊かな地域資源の積極的な活用・発信により、区民が地域に愛着と誇りを持ち、住み続けたいと思える中区をめざします。

④ 区づくりの重視すべき視点

視点① 「自然」と「便利さ」が調和する住の魅力を高める

- 都心部へのアクセス性に優れ、職住近接を可能とする利便性の高い住環境と豊かな自然環境が調和した中区の特性をいかしつつ、交通利便性の向上など、生活環境の充実等をさらに図ることにより、誰もが快適に暮らしやすいまちづくりを進めます。

視点② 豊かな地域資源をいかし、  
地域への愛着と誇りを醸成する

- 暮らしに憩いと潤いをもたらす豊かな水と緑の環境を区民と協力しながら守り、次世代へ継承していきます。
- 各地域に息づく歴史・文化遺産や特産品等の地域資源を活用、発信していくことにより、区民の地域への愛着と誇りを醸成します。

視点③ 多様な世代が交流し、地域の担い手が活躍する

- 地域団体、NPO、企業、大学等の多様な主体がつながり、中高生等の若者を巻き込みながら、様々な世代が活発に交流する、持続可能なまちづくりを進めます。
- 地域の防災・防犯力を高め、自助・共助の取組を進めることにより、災害に強く、犯罪の少ない安全・安心なまちづくりを進めます。
- 地域での健康づくり活動や見守り、支え合いにより、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

## ⑤ 施策展開の方向性

### 方向性1 交通利便性の向上

- 交通渋滞の解消、都心部への交通アクセス性の向上や区内の各地域間の円滑な移動を確保するため、主要地方道岡山赤穂線（外環状線）、都市計画道路下中野平井線（中環状線）等の幹線道路の整備を進めます。
- 公共交通の利便性向上を図るため、沖元・平井方面において、バス路線の再編に取り組むとともに、乗り継ぎ環境の整備を進めます。
- 地域住民及び交通事業者との連携により、日常生活に必要な移動手段を確保するための生活交通<sup>8</sup>の導入について検討します。
- 自転車利用環境の改善を図るため、自転車通行空間等の整備を進めます。



都市計画道路下中野平井線完成イメージ

### 方向性2 豊かな自然環境の保全と生活環境の整備

- 操山公園里山センターでの自然保護に関する活動・交流の場の提供や、センターボランティアとの協働による自然観察会・講座等の開催を通じて、自然と人との関わり方や里山を守り育てるための情報提供、意識啓発を図ります。
- アユモドキやホタルなど、地域の身近な野生生物をシンボルにした市民主体の自然保護活動への支援やエコボランティアの育成等を通じて、地域の自然環境保護に取り組む担い手づくりを推進します。
- 有害鳥獣による農作物被害を防止するため、実態調査の実施、関係団体や地域との協働による啓発、防護、捕獲等の活動を通じて、有害鳥獣に強い地域づくりを推進します。

- 高島市営住宅の建替えにあたり、入居者の安全・安心や住環境の改善を図るとともに、民間活力を導入した余剰地の活用により、入居者及び周辺住民の居住性及び生活利便性の向上をめざします。

### 方向性3 地域資源の活用と発信

- 雄町米を使用した日本酒や、沢田の柿、和菓子などの地域特産物について、引き続き、県内外でPR活動を行うことにより、岡山の誇れるブランドとして守り育て、次世代へつなげます。
- 旭川、百間川沿いの水辺空間、操山などの里山、曹源寺をはじめとする歴史・文化遺産をウォーキングコースとして活用するなどにより、地域の魅力の再発見や市民の健康づくりにつなげます。
- 地域の歴史・文化遺産や地域特産物を活用した区まちづくり独自企画事業の実施や区の魅力を積極的に伝えることにより、地域の活力を高め、地域への愛着と誇りを醸成します。



区まちづくり独自企画事業

#### 用語説明

<sup>8</sup> 生活交通：P31の脚注参照。

方向性4 多世代の交流・協働による地域・健康づくり

- 地域の様々な行事等の交流の場を通じて、住民同士の交流が促進され、いざという時に地域で支え合えるよう、地域の結びつきを支援します。
- 地域活動の担い手を育成するため、こどもから大人までが参加しやすいイベントづくりやSNSを通じた様々な情報発信により、若年層の地域活動への参加を促進します。
- 区づくり推進事業等を活用し、地域住民の主体的な交流・活動を支援するとともに、公民館と連携した地域活動やボランティア活動を推進します。
- また、環境美化への協力や地域イベントへの協賛等の企業参加や区内の大学や高校との連携を進めます。
- 大学・短大の看護や教育等の専門性を区民の健康づくり、認知症予防や人材育成につなげるとともに、学生の地域活動への参加を促進し、多世代の交流等による地域活性化を図ります。
- 健康づくりの啓発について学校との連携を進め、次代を担うこどもだけでなく、その保護者など幅広い世代に対する啓発にも取り組みます。



区づくり推進事業

方向性5 地域との連携による防災・防犯力の向上

① 地域防災力の向上

- 南海トラフ巨大地震や集中豪雨等の災害に備えるため、自主防災組織<sup>9</sup>の結成や育成を促すとともに、町内会や自主防災組織が実施する防災訓練等を支援し、地域防災力の向上を図ります。



自主防災組織による防災訓練

用語説明

<sup>9</sup> 自主防災組織：P28の脚注参照。

- 要配慮者への支援体制を充実させるため、地域と連携して、避難行動要支援者の個別避難計画の作成等を支援します。
- 災害時に備え、食料や資機材を分散備蓄するとともに、災害時の避難所運営の在り方について、地域や学校等と検討を進めます。
- 津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめるため、ハザードマップの普及や出前講座の実施等により、日頃からの危機意識を醸成するとともに、避難方法等の一層の周知を図ります。
- 用水路等の危険箇所に対する安全対策を図るため、引き続き転落防止柵等を設置するハード対策を行うとともに、啓発ポスターの掲示やチラシの配布等のソフト対策も実施していきます。

② 津波・浸水対策

- 津波や大雨による浸水被害を軽減するため、国、県による旭川の護岸整備や沿岸部の津波・高潮対策を促進するとともに、倉安川の護岸整備や河床掘削等の河川改修、排水機場の整備・更新、用排水路の整備・改良等のハード整備を進めます。
- 町内会への防災備蓄土、土のう袋の配布を行うとともに、事前に大雨が予想される場合には、地域の水利権者等の協力のもとで用水路の事前水位調整を行うなど、ソフト対策を推進します。

③ 地域防犯

- 防犯ボランティア団体に対する情報提供や研修等を実施するとともに、区民への防犯活動の紹介などを通じて、地域防犯活動の活性化を図ります。
- 警察や防犯団体と連携した啓発活動の実施など、関係団体との連携を強化するとともに、地域における防犯灯や、防犯カメラの設置等を支援することにより、街頭犯罪や少年非行を防止し、犯罪のない社会づくりを進めます。